

60 コヤスツラガイ

(スweifガイ科)

兵庫県ランク:B

*Acteocina koyasensis*

環境省ランク:NT

種の概要

東北から南西諸島に広く分布するが、既知産地は少ない。比較的大きな内湾奥部に流入する河川や河口の汽水域において、干潮時にできる溜まりや岸近くの浅場の泥床に生息する。殻長4mm程度の円筒形をし、螺塔はごくわずかに突出する。殻表面は淡い茶褐色の殻皮に覆われ、筋状の螺条脈が螺管に多数ある。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○			○

県内分布

加古川市、高砂市、姫路市、たつの市、赤穂市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。大型河川である加古川、揖保川、千種川の汽水域で生貝を確認している。干潮時にできるヨシ帯周辺の浅い溜まりなどで、エドガワミズゴマツボ(貝類Cランク)、マツシマコメツブガイ(貝類Bランク)、ヨコイトカケギリなどとともに生息する。調査時期や年により、在、不在が極端であり、消長の著しい種と考えられる。

保護上の留意点

比較的大きな河川において、干潮時に河口汽水域の下流部に存在する泥底の浅い溜まりやワンドの保全を行い、横断面の広い潮間帯を消失させないこと。



【執筆者】 増田修